

交通安全市民会議ニュース 10月号



高齢者の交通事故を防ごう



平成 30 年 9 月末現在、豊田市内の交通事故死者 7 人のうち 4 人が高齢者です。平成 29 年は、交通事故死者 13 人のうち 6 人が高齢者でした。どちらも半数以上を高齢者が占めています。

！高齢者が歩行中に車にはねられるという事故が多発しています。

- 事故の例) ●信号の表示が目に入らずに横断歩道を渡ってしまい車と衝突
●横断中に信号が変わってしまい、交差点に入って来た車と衝突



高齢者の歩行中の事故は自宅付近で起こることが多いということから、『いつもの道だから大丈夫』、『確認しなくても大丈夫』などと油断しないよう、また、ドライバーは歩行中の高齢者を見かけた際にはより一層注意を払い、思いやりの気持ちを持って運転するようにしましょう。

！信号を守っているから絶対に安全とは限りません。

青信号の横断歩道を横断中に、交差点を右折して来た車両に衝突するという事故も起きています。車両には死角があります。「ドライバーは気付いているだろう」と思い込むことなく、車の動きに注意するようにしましょう。夜間は反射材等を利用して、ドライバーに自分の存在を知らせましょう。



実際に発生した事故事例
(警視庁 HP より)

！交通ルールを守りましょう。

高齢者に限りませんが、信号無視をして横断歩道を渡る、横断禁止場所を横断する、車両を運転する際に一時停止を守らないなど、交通ルールを無視した事による事故も多発しています。「ちょっとぐらい…」などと思わずに、歩行者、ドライバーがそれぞれの交通ルールを守り、悲しい事故を防ぎましょう。



まだ若い 過信慢心 事故の元

(平成 26 年度 愛知県高齢者交通安全川柳コンテスト 優秀作品)

秋の交通安全市民運動を実施しました

期間中は、立哨活動等にご協力いただきありがとうございました。



★イベント情報

11 月 3 日 (土/祝) 9~16 時 30 分に、豊田市交通安全学習センター (池田町) で、「サンフラワーフェスティバル」が開催されます。楽しいイベントが盛りだくさん。家族そろって遊びに行こう！
(詳細：同センターへ ☎ http://www.kotsuanzen.jp)

「歩行者保護モデルカー活動」実践 3 項目

- 速度遵守・・・制限速度を必ず守る
- ハイビームの活用・・・ライト点灯時はハイビームを活用する
- 歩行者優先・・・横断歩道で歩行者を見たら必ず“止まる”

【発行】
豊田市交通安全市民会議事務局
(豊田市役所交通安全防犯課内)
Tel.0565-34-6633

